

# 米の需給状況について

令和8年4月21日  
福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

令和8年産主食用米の生産数量の目安（面積）を、令和7年産の生産実績と同じ67,000 ha（備蓄米作付面積6,300 haを含む）に設定しています。  
生産数量（面積）の目安に沿った生産を实践し、主食用米の需給バランスを保ちながら、備蓄米や食品産業から需要のある加工用米等への転換を検討するなど、需要に応じた生産を引き続き実践しましょう。

## 1 国の需給見通しの変更について

国は、令和8年3月23日に開催した「第72回食料・農業・農村政策審議会 食料部会」において、需要量の変動や今年1月末時点の作付意向調査結果を踏まえ、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」を変更しました。

今回の変更により、令和8年6月末の民間在庫量は221～234万トン、今年1月末時点の作付意向調査結果を踏まえた令和9年6月末の民間在庫量が229～271万トンとなり、適正水準とされる200万トンを大幅に上回る見通しとなっています。

これまででも、在庫が過剰になると米価が大きく下落していますので、主食用米から、備蓄米や加工用米等への転換を検討するなど、需要に応じた生産を实践願います。

○主食用米等の需給見通し（玄米、万トン）

		変更前 (R7.10)	変更後 (R8.3)	作付意向調査 (R8.1末時点) を踏まえた見通し
令和7/8年	令和7年6月末民間在庫量	155	155	/
	令和7年産主食用米等生産量	748	747	
	令和7/8年政府備蓄米供給量	23	23	
	令和7/8年主食用米供給量計	926	925	
	令和7/8年主食用米等需要量	697～711	<b>691～704</b>	
	令和8年6月末民間在庫量	215～229	<b>221～234</b>	
令和8/9年	令和8年6月末民間在庫量	215～229	221～234	221～234
	令和8年産主食用米等生産量	711	711	<b>719～732</b>
	令和8/9年主食用米等供給量計	926～939	932～945	940～966
	令和8/9年主食用米等需要量	694～711	696～711	696～711
	<b>令和9年6月末民間在庫量</b>	215～245	221～249	<b>229～271</b>

## 2 令和8年産主食用米の生産数量の目安について

令和8年産の主食用米の生産数量（面積）の目安については、生産基盤の状況等から、米の生産量を維持するため、現状の生産面積を維持する必要があるとともに、国が公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針」における生産量の見通しや本県産米における需要量シェア等を考慮し、令和7年産の作付実績と同じ67,000 ha（備蓄米6,300haを含む）と設定しました。

なお、備蓄米については、今後の動向を見ながら対応する必要があるため、主食用米の目安の内数としています。

用途	令和7年産実績	令和8年産目安	前年差
主食用米	67,000 ha	67,000 ha	0 ha
備蓄米	0 ha	(備蓄米 6,300 ha 含む)	

### 3 水田における作付意向（1月末時点）

令和8年3月11日、国は1月末時点における令和8年産米の作付意向を公表しました。全国的には主食用米の面積がわずかに減少しているものの、概ね前年並みの見通しとなっています。

また、平均単収で生産量を試算すると732万トンとなり、政府が公表した需要見通し711万トンを21万トン上回っています。

本県においては、主食用米の面積が減少する傾向となっています。これは、政府による備蓄米の買入れが、令和7年産では中止となったものの、令和8年産からは買入れが再開されることから、主食用米からの備蓄米への移行が進んだことなどが考えられます。

○本県の水田における戦略作物等の作付意向（1月末時点）単位：千ha

	主食用米	備蓄米	加工用米	新市場 開拓用米	飼料用米	WCS用稲	麦	大豆
令和8年産	65.9	1.4	0.8	0.1	1.4	0.9	0.4	0.8
令和7年産	67.0	0	0.9	0.1	1.4	0.9	0.4	0.8
対前年差	▲1.1	+1.4	▲0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

なお、今回の意向調査は、生産者の意向を集約したものではなく、地域農業再生協議会（市町村等）による見通しの集計値であり、今後、変動が見込まれます。